

令和
3年度

橋梁技術発表会 講演会

参加費
無料定員
200名申込
先着順

及び

コロナ対策を考慮して開催いたします。定員変更の可能性あります。
新型コロナウイルスの感染拡大により中止となる可能性があります。

第1部 技術発表	13:00~13:10	開会の辞 (一社)日本橋梁建設協会 会長 高田 和彦
	13:10~13:50	① 疲労に強い鋼床版と取替え鋼床版 ~近年の橋建協の取り組み~ 床版小委員会
	13:50~14:00	休憩
	14:00~14:40	② カチプール・メグナ・グムティ第2橋建設工事 工事報告 ~バングラデシュ初となる大規模鋼橋架設工事~ 海外事業委員会
	14:40~14:50	休憩
第2部 特別講演	14:50~15:50	橋梁メンテナンス教育・技術の 国際展開の取組と次世代への継承・発展 岐阜大学 工学部社会基盤工学科 准教授 木下 幸治
	15:50~16:00	閉会の辞 (公社)土木学会 中部支部 支部長 道浦 真



日 時

令和3年

11月19日(金)

13:00~16:00

会 場

名古屋市中小企業振興会館

(吹上ホール) 7Fメインホール

名古屋市千種区吹上2-6-3

申し込み

Webサイト <https://www.jasbc.or.jp/>

受付は令和3年10月19日~11月9日

※申し込みは、Webサイトからのみです。

連絡先

一般社団法人 日本橋梁建設協会 中部事務所
〒456-8691 名古屋市熱田区三本松町1番1号
日本車輛製造(株)内
TEL 052-883-8770

継続教育

CPDS認定予定

開催地区

- 東京地区: 10月 1日(金)
 - 九州地区: 11月 5日(金)
 - 大阪地区: 10月13日(水)
 - 東北地区: 11月10日(水)
 - 北海道地区: 10月29日(金)
 - 中部地区: 11月19日(金)
- (6地区開催ですが、発表テーマは異なります)

資料配布

論文及びPPTのpdfは事前にWebサイトに掲載
致しますので、必要に応じ出力し持参願います。

【アクセス】



●地下鉄桜通線「吹上駅」下車 5番出口より徒歩5分

【来場時のお願い】

- ◎来場時に検温および体調の確認をさせていただきます。
- ◎来場時には、マスクの着用をお願い致します。
- ◎体調不良の場合は、来場を自粛して頂きます様、お願い致します。

1 疲労に強い鋼床版と取替え鋼床版

鋼床版は、軽量であり架設期間を短縮できることから、都市内高速道路や長大橋に採用されてきました。しかし、大型車交通量の多い路線の鋼床版から疲労損傷が発見され、疲労対策が必要になってきています。鋼床版の疲労損傷は、1990年代中頃より報告が増加していますが、疲労設計が行われていない橋梁での報告が多く、疲労耐久性向上の余地があると考えられています。本発表では、近年の橋建協の取り組みとして、官学と協力して行っている高耐久化への取り組みを紹介します。

また、近年実施例が増えている既設RC床版の更新工事にも鋼床版が使用される例があります。本発表では、取替え鋼床版のニーズと利点を整理し、調査した取替え鋼床版の事例紹介をすると共に、いくつかの諸元を系統的にまとめ、設計・施工上の特徴や留意点について報告します。

2 カチプール・メグナ・グムティ第2橋建設工事 工事報告

本橋が架設される首都ダッカと第2の都市チッタゴンとの間はバングラデシュのGDPの5割を占める重要な経済回廊です。近年の交通量増加により当路線の各地で慢性的に交通渋滞が多発していたことを背景に、2008年から当局は同路線を2車線/4車線から6車線/8車線とする拡幅工事を進めており、3橋の建設工事はその一環となりました。

3橋は細幅箱桁を主桁とした合成床版を有する連続桁です。全橋送出し工法が採用されており、3橋の内最大橋長となるグムティ第2橋では、橋長1410m全量を両岸から送出す大規模な送出し架設を実施しました。

本発表では、バングラデシュ初となる大型規模鋼橋架設工事から得られた技術的知見や直面した課題について発表し、同国での鋼橋架設工事に活かされる事を目的とします。

特別講演会 講演者紹介

岐阜大学 工学部社会基盤工学科 准教授

木下 幸治

講演テーマ

橋梁メンテナンス教育・技術の 国際展開の取組と次世代への継承・発展

【略歴】

平成12年3月 木更津工業高等専門学校 卒業
平成14年3月 宇都宮大学工学部建設学科 卒業
平成16年4月 東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻修士課程 修了
平成19年3月 東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻博士課程 単位修得満了
平成19年4月 岐阜大学工学部社会基盤工学科 助教
平成27年4月 岐阜大学工学部社会基盤工学科防災コース 准教授 現在に至る。
この間、平成24年4月～平成25年3月 ネパタ大学・リノ校客員研究員
平成29年10月 グリフィス大学ゴールドコーストキャンパス客員准教授

【専門分野】 構造工学, 耐震工学, 鋼構造学,
維持管理工学, 工学教育

【講演概要】

現在、わが国では政府を挙げて、質の高い橋梁メンテナンス教育・技術の海外展開と開発途上国のメンテナンス分野等をリードする中核人材育成を行っている。岐阜大学では、2020年度よりアフリカ・ザンビア国を対象に岐阜大学のメンテナンス・エキスパート養成講座をベースにカスタマイズした橋梁技術者育成プログラムの技術移転と開発途上国の中核人材育成に参画しており、これらの取組を紹介する。さらに、わが国における橋梁メンテナンス教育・技術の確実な継承と継承後の発展について、耐候性鋼100年暴露試験の実施経緯等を例に紹介する。

令和3年度

橋梁術発表会

中部地区

11月19日(金)

参加申込方法▶



一般社団法人 日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association

ホームページよりお申込み下さい。

<https://www.jasbc.or.jp/>

「技術発表会」
の申し込みはこちら。